



「ドラえもん」のように夢のある「4次元ポケット」の話題から、より自由な発想と発言が生まれる雰囲気になりました



宮城モデルとして展開した場合、どのように広報を行うのか？ 協業できる企業や団体の想定は？など具体的なプランが出ました

第1回目となった実践コースでは、対話形式によるセッションが行われました。参加者が自己紹介を行い、各自の所属企業の事業内容や、個人の生活者目線から結びつくSDGs目標などについて発言しました。

大日本印刷の阿部巧さんからは、官民連携事業として埼玉県と大日本印

### 宮城モデルのプロジェクトへ

## プロジェクトが生まれる場づくり

刷を含む複数の企業で実施した「プラスチック資源循環の見える化」実証実験の事例を紹介いただきました。この事業では、家庭での使用済みプラスチックを回収した資源をリサイクルする過程でCO2排出量等の情報を管理。わかりやすく可視化し発信することで、生活者のリサイクルに対する意識変容の効果を検証しています。

終盤は同事業を「宮城モデル」として展開した場合を想定したブレスト

を実施。アイデアを数多く出し合い、具体的な地元企業をイメージし、ひとつずつ課題を深掘りするプロセスを共有しました。

今期は、課題解決に向けたプロジェクトを実施コースから誕生させることを目標に、実践につながる場をさらに広げていく予定です。

### 参加者の声

#### 自分にできること考える機会に

SDGsについて「一」から勉強するつもりで参加しました。「SDGs塾」での学びをもとに、これから当組合の業務を通して、あるいは自分の暮らしの中で、どんな取り組みが可能なのかじっくり考えていきたいと思っています。



宮城県民共済 鈴木崇史さん



### みやぎSDGs塾って？

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成し、2021年11月から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから！

### みやぎSDGs Farm

賛同企業

募集中!!



公式HP  
[申し込み・問い合わせ]  
河北新報社営業局  
TEL / 022-211-1318  
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp



よろしく  
お願いします

宮城県民共済は、「誰もが真に必要な掛金負担の小さな共済」を目指し、設立から40年間にわたり「小さな掛け金で大きな保障を提供する」共済事業を行ってきました。東日本大震災の際にも、全国各地の県民共済グループと連携し、被災者の皆さまに共済金をお支払いすることができました。

SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念と、「安心して暮らせる環境づくりと地域社会への貢献」という私たちのテーマは、密接であると考えています。

コロナ下での福祉施設への不織布マスクの寄贈、宮城県内で地域のために活動している女性を応援するテレビ番組へのスポンサー、小学生を対象とした盲導犬キャラバンやブライインドサッカー体験会など、これからも地域社会への貢献活動とSDGs目標を積極的に結び付け、安全安心な社会の実現に向けて事業を展開してまいります。

### わが社のSDGs



### 助け合いの心を通じて安全安心な社会の実現へ

宮城県民共済生活協同組合  
代表理事 理事長  
本田 陽二さん



5月26日、河北新報本館1階セミナールームにて、みやぎSDGsファーム第2ターム(後期)第1回「みやぎSDGs塾」の実践コースと標準コースが開塾しました。

### 標準コース 第1回講座レポート ~第2ターム後期メンバーが結集!~

「みやぎSDGsアンバサダー」を育成するプログラム「みやぎSDGs塾・標準コース」の第2ターム・後期日程が始まりました。

今回は、東北地方を中心に循環型社会の実現に向けた活動を続ける「SDGsとうほく」の紅邑晶子さんが、「地域のこと、世界のことをSDGsの視点で見てもよい」と題して講話。貧困、飢餓、ジェンダーなど国連が目標を掲げる17の項目について、世界、日本、県内の現状を踏まえて解説しました。

紅邑さんの講話に続いて、大日本印刷の森勇大さんが、同社が運

営するスマートフォンアプリ「M a y i i (メイアイ)」を紹介。手助けを必要とする人と手助け可能な人とを結びつけるアプリの仕組みについて解説し、「皆さんとの連携によって、できることが増えるはず」と呼びかけました。

講座の合間や終了後には、これから学ぶメンバー同士が積極的に交流を図る様子も見られました。



「みやぎSDGs塾」第2ターム後期のメンバー。全5回の講座を通して学びと交流を深めていきます

### SDGsの基礎を学ぶ

### 第2ターム参加者(敬称略)

【あすなる学院】佐々木陵太、齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一【YES工房】大森丈広【いなかの駅やしまや】八島哲郎【H.Simple Design Studio】小山田陽【エンジェルパサー】杉山昌己【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩騒】加藤貴伸【環境再生保全機構】【高速】井上雅光【ココ・コーラ ボトラーズジャパン】遠藤巧【コスモ警備】佐藤裕樹【スイコー】斉藤綾子、赤根早咲、千葉哲也、足立光弘【スタイルグループ】千田佳子、山内好之【竹鶏ファーム】赤淵利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、矢島迅人、森勇大【チャレンジドジャパン】庄子早紀【日建リース工業】工藤雅人、鈴木健太郎、今田光司【フクダ・アンド・パートナーズ】千葉真紀子、加藤祐、阿部真美【宮城県民共済生活協同組合】多勢剛、関口拓真、細川薫、相澤貴洋、二階堂聡美、鈴木崇史【ミライトス】鈴木圭介【山田】高橋拓宏、本郷友恵【リコージャパン】内山直人、工藤千穂、志賀友美、坂田健郎、佐藤萌【ワコーファースト商事】若生有加【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】鈴木信廣、千葉よかこ、松井未史【尚綱学院大学】小宮山岬希、菅井百花、遠藤奎汰、橋浦克則【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

### 賛同企業・団体・個人

都道府県民共済グループ  
宮城県民共済 SUIKO 大日本印刷 DNP RICOH 日本製紙株式会社 独立行政法人 環境再生保全機構 尚綱学院大学

みやぎ生協 株式会社 山田 F&P あすなる学院. angelpasser エントワデザイン パッケージの専門会社 株式会社 高速 Coca-Cola ボトラーズ JAPAN INC. コスモ警備株式会社

STYLES GROUP 竹鶏ファーム チャレンジドジャパン 日建リース工業株式会社 蜂屋食品 ミライトス株式会社 いなか道の駅 やしまや 株式会社ワコーファースト商事

荒町商店街振興組合 YES工房 H.Simple Design Studio オフィス塩騒 WACO CREATE 鈴木信廣 千葉よかこ 松井未史

特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA 東北 尚綱学院大学SDGsアクション委員会